

国語科学習指導案

日時 平成16年12月16日(木) 5校時
学級 1年6組 男子17名 女子23名 計40名
指導者 藤田美穂

1 単元名 漢文三 (東京書籍 新編国語総合)

2 単元設定の理由

漢文の世界の真髄は、唐詩と論語にあると言われる。「唐詩を味わう」に続く本単元で、漢文世界のもう一方の代表である「論語」を学習しその深い思想性を学び取らせたい。さらに単に古代中国のみならず、日本やアジア諸国、更には世界にも大きな影響を与えてきた儒家の思想にも触れ、人間の生き方やあり方を模索すると同時に、人生観・世界観を深めさせたい。また我が国の言語・思想・文化に及ぼした影響についても触れていくことで高校生としての学習の幅を広げていくことが出来ると考える。

3 単元の目標

- (1) 孔子の考え方(学問・人間・政治のあり方について)を正しくとらえる。
- (2) 孔子の思想を通じて、ものの見方や考え方を豊かにする。
- (3) 書き下した文の徹底と口語訳の習慣・方法を身につける。

4 単元の評価

- (1) 孔子の考え方(学問・人間・政治のあり方について)を正しくとらえることが出来たか。
- (2) 孔子の思想を学ぶことで、自らのものの見方や考え方に新たな視点加わり、幅が出来たか。
- (3) 漢文を適切に書き下す力と、口語訳の方法が身に付いたか。

5 教材名 『論語 十章』

6 教材観

漢文教材の中でも、比較的短く簡潔にまとまっているため生徒たちが取り組みやすく、限られた時間の中での指導もしやすい。また、簡潔な中にも深い思想性にも富んでおり、生き方の模索を始めた高校生に示唆を与え共に考えていくことが出来る教材である。

7 生徒観

明るく、とくに女子が元気なクラスである。比較的真面目な生徒が揃っており、教師の指導には素直に従う。休み時間は騒々しいこともあるが授業中は落ち着いており、集中力のある生活も多い。しかし、高校生も半年以上を経過した今、クラスの中に狎れあいの雰囲気が出てきているのも事実である。また理系科目に比べ文系科目を苦手とする生徒が多く、国語には「今までわからなかった問題が解けた!」というような達成感がなくつまらないと感じている生徒も存在する。また、「漢文をやって何になるのか」という問い掛けもしばしば聞く所である。このような生徒たちに、漢文と日本文化のつながりの深さ、歴史の重みを伝えると同時に、その面白さや現代に通ずる新しさを感じさせることが出来れば幸いである。

8 学習指導計画(全5時間)

- 第1限・・・ 中国の思想について概要を捉え、特に孔子と儒家の思想、「論語」についてつかむ。『学問』三編を訓読し、書き下し文を確認する。
- 第2限・・・ 『学問』三編を現代語訳し、孔子の学問に対する態度をまとめる。年齢を表す言葉について学ぶ。
- 第3限・・・ 『人間』四編を訓読する。現代語訳する。孔子の人となりを考え、人間についての考えをまとめる。
- 第4限・・・ 『政治』三編を訓読し、現代語訳する。孔子の政治についての考え方を知る。
- 第5限・・・ 「論語」と孔子についてまとめる。

9 学習指導計画（全5時間）

	目 標	指 導 内 容	学 習 活 動
第一時	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の思想の概略をつかませる。 ・孔子や儒家の思想について興味・関心を持たせる。 ・『学問』三編を正しく訓読する。 ・『学問』三編を正しく書き下せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■導入 <ul style="list-style-type: none"> ・諸子百家について補足的に説明を加える。 ・孔子と儒家の一派についてエピソードも交えて、適宜説明を加える。 ■展開 <ul style="list-style-type: none"> ・（前時に、音読練習を指示しておく）繰り返し音読してみせる。 ・（前時に、予習として書き下し文を指示しておく） ・指名し解答を板書させる。 ・正解を示し、確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予習段階で諸子百家について調べておく。 ・中国の思想、儒教・孔子について理解を深める。 ・範読を聞いて、音読を繰り返し、正しく訓読できるようにする。 ・正しく書き下せたか、確認する。
第二時	<ul style="list-style-type: none"> ・『学問』三編を正しく現代語訳する。 ・それぞれの掌編に表れた、孔子の学問に対する・態度考え方について理解する。 ・年齢の異称、句法について理解する。 ・有名な章句については暗誦する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指名して現代語訳を発表させる。間違いや勘違いしやすい点については適宜説明を加える。 ・一編ずつ解説を加えながら、孔子の人となりや思想が理解できるようにする。 ・「志学」「而立」「不惑」等の言葉について、押さえるさせる。 ・感嘆形について説明を加える。 ・暗誦する部分について、指示する。また、これらの章句が現代にも生きていることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予習段階での現代語訳を確認する。 ・一編ずつについて、孔子の考え方を理解する。 ・年齢の異称について学習する。 ・感嘆の形、訳し方について学習する。 ・漢文の日本語への影響について理解し、暗誦する。
第三時	<ul style="list-style-type: none"> ・『人間』四編を訓読できる。 ・『人間』四編を正しく書き下せる。 ・『人間』四編を正しく現代語訳する。 ・それぞれの掌編に表れた、孔子の人間についての考え方について理解する。 ・仁、恕等の語句について理解する。 ・有名な章句については暗誦する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・範読の後、氏名読みさせる。 ・正解を示し、確認させる。 ・指名して現代語訳を発表させる。間違いや勘違いしやすい点については適宜説明を加える。 ・一編ずつ解説を加えながら、孔子の人となりや理想が理解できるようにする。 ・仁、恕について説明を加える。 ・暗誦する部分について、指示する。また、これらの章句が現代にも生きていることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『人間』四編を正しく読めるよう繰り返し音読する。 ・予習段階での現代語訳を確認する。 ・一編ずつについて、孔子の考え方を理解する。 ・仁、恕について理解する。 ・漢文の日本語への影響について理解し、暗誦する。
第四時	<ul style="list-style-type: none"> ・『政治』三編を訓読できる。 ・『政治』三編を正しく現代語訳する。 ・『政治』三編を正しく現代語訳する。 ・それぞれの掌編に表れた、孔子の政（まつりごと）についての考え方について理解する。 ・徳治主義について理解する。 ・有名な章句については暗誦する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・範読の後、氏名読みさせる。 ・正解を示し、確認させる。 ・指名して現代語訳を発表させる。間違いや勘違いしやすい点については適宜説明を加える。 ・一編ずつ解説を加えながら、孔子の政についての考え方や思想が理解できるようにする。 ・徳治主義について説明を加える。 ・暗誦する部分について、指示する。また、これらの章句が現代にも生きていることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『人間』四編を正しく読めるよう繰り返し音読する。 ・予習段階での現代語訳を確認する。 ・一編ずつについて、孔子の考え方を理解する。 ・徳治主義について理解する。 ・漢文の日本語への影響について理解し、暗誦する。
第五時	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の確認をする。 ・孔子と論語について総括する。（補足事項がある場合は、適宜補足説明を加える。） 	<ul style="list-style-type: none"> ■まとめ ・既習事項について、暗誦テストを含む小テストを実施する。 ・学習内容を想起させながら、まとめを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テストで知識の定着度を再確認し、不足部分については補う。 ・不足部分は、適宜ノートにまとめていく。

10 本時の学習指導計画（全5時間中の三時間目）

・本時の学習指導目標

- (1) 『人間』四編を訓読できる。
- (2) 『人間』四編を正しく書き下せる。
- (3) 『人間』四編を正しく現代語訳出来る。
- (4) それぞれの掌編に表れた、孔子の人間についての考え方を理解する。
- (5) 「仁」、「恕」等の言葉を正しく理解する。
- (6) 有名な章句を暗誦する。
- (7) 人間性や人生観について深く考察する態度を養う。

	分	具体的指導目標	具体的指導内容	学 習 活 動
導 入	5	・小テストを行うことによって知識の確認をする。	・スマートボード上で正解を提示。赤ペンで添削させる。	・『学問』有名章句暗誦テスト
	5	・前時までの内容を確認する。	・前時までの内容を確認することで今時の学習内容の浸透を図らせる。	・ノート等で前時までの内容を想起する。
展 開	35	<ul style="list-style-type: none"> ・正しくスムーズな訓読が出来る。 ・正しい書き下し文を書く。特に「如(ごとし)」等の助詞、助動詞をひらがなに直せるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者による範読の後、指名し訓読させる。個別練習の時間も取る。 ・スマートボード上に一章ずつ正解を提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>子曰はく、「巧言令色鮮なし仁。」と。</p> <p>子川上に在りて曰はく、「逝く者は斯くのごときか。昼夜を舍かず。」と。</p> <p>厩焚けたり。子朝より退きて曰はく、「人を傷へりや。」と。馬は問はず。</p> <p>子貢問ひて曰はく、「一言にして以つて終身之を行ふべき者有りや。」と。</p> <p>子曰はく、「其れ恕か。己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ。」と。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜、解説を入れる。 ・語句の解説をスマートボード上にて行う。(ノートを取るよう指示) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>■語句の解説</p> <p>巧言令色……</p> <p>仁……</p> <p>逝者……</p> <p>厩……</p> <p>終身……</p> <p>恕……</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜机間巡視を行う。 ・時間を与え適切な現代語訳が出来るよう、アドバイスする。 ・指名し訳を発表させる。 ・スマートボード上に一章ずつ正解を提示する。 ・孔子の人柄がわかる、具体的箇所を指摘させる。 ・『人間』四編を通して読み取れる、孔子の人間観について考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『人間』四編を繰り返し訓読する。 ・宿題としてやってきた書き下し文を、正解と照らし合わせ、確認する。 ・語句の解説をノートにきちんと書き写す。 ・語句の解説や脚注を参考に現代語訳する。 ・正解を見て、訂正する。 ・孔子の人柄を推察できる具体的箇所を教科書から探す。 ・掌編に表れた孔子の人柄について考察し孔子の人間観についてまとめる。
		ま と め	5	・有名な章句について暗誦する。

11 本時の評価

- (1) 『人間』四編を訓読できるか。
- (2) 『人間』四編を正しく書き下せたか。
- (3) 『人間』四編を正しく現代語訳できたか。
- (4) それぞれの掌編に表れた、孔子の人間についての考え方を理解できたか。
- (5) 「仁」、「恕」等の言葉を正しく理解できたか。
- (6) 有名な章句を暗誦できたか。
- (7) 人間性や人生観について深く考察する態度を養うことができたか。